



第13回クリーンアップ分科会（4月5日）を開催

福島市にオープンした「除染情報プラザ」へのクリーンアップ分科会からの支援状況が報告され、来館者からの質問に対して統一した回答の必要性が確認された。そのためのシステム作りを検討することとなった。また、除染情報プラザ運営の改善点として、「省庁、自治体などの除染の方向性全体を見ながら除染情報プラザを運営する中心者が不明確ではないか」、「プラザを活用していただくようPRがもっと必要、特に若い世代へは学校を通してPR活動ができないか」、「ミーティングスペースで、省庁、自治体等の除染対応状況を定期的に説明したらどうか」、「放射線影響度、費用対効果等の観点も考え合わせ、合理的な除染をプラザを利用し原子力学会として提案ができないか」、との意見が出され、福島県や環境省へ提案することとなった。

5月13日に予定されている「除染の推進に向けた地域対話フォーラム」（仮称）では、除染作業の報告、除染プラザでの代表的な質問と回答の報告を盛り込むとの提案があり、主催者である福島県と相談することとなった。また、当分科会で作業した「除染カタログ」、「ご説明資料」、「EURANOS データシート」をフォーラムにて配布し、来場者に活用していただくこととなった。

その他、環境修復廃棄物検討ワーキングでまとめている「除去土壌の仮置場に求められる要件の補足解説」などの紹介があった。

以上